



煤ヶ谷駐在所

厚木警察署

煤ヶ谷駐在所

編集*渡部

TEL 046-223-0110

夏の交通事故防止運動の実施

～関係機関・団体等と連携した広報啓発活動を実施します～

特殊サギ救出テレホン「SOS」

TEL 045-641-5014

受付時間 平日(月～金曜日)
8時30分～17時15分
【祝日、年末年始を除く】

- 少年を特殊詐欺への加担から救うための電話相談窓口
- 特殊詐欺加担への未然防止や足抜けを支援します。

特殊詐欺に関し「詐欺グループから抜きたい」、「先輩から勧誘されて困っている」などの悩みを抱えた少年や「子供を特殊詐欺の組織から足抜けさせたい」などの保護者等からの相談を、相談の専門員が電話で受け付けています。

- ◎ 目的
神奈川県交通安全対策協議会主催の下、県民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止を徹底することを目的として、夏の交通事故防止運動を実施します。
- ◎ 期間
令和二年七月一日(土)から七月二〇日(月)までの一〇日間
- ◎ スローガン
「安全は、心と時間のゆとりから」
「交通ルールを守って 夏を楽しく安全に」
- ◎ 運動の重点
過労運転・無謀運転の防止
子供と高齢者の交通事故防止
自転車の交通事故防止
全ての座席のシートベルトとチャイルドシート
の正しい着用の徹底
踏切の交通事故防止
- ◎ 県民の皆さんは次のことを心掛けましょう。
過労運転・無謀運転の防止
子供と高齢者の交通事故防止
自転車の交通事故防止
全ての座席のシートベルトとチャイルドシート
の正しい着用の徹底
踏切の交通事故防止

事件記録板

5月中旬から6月中旬までの事件は、
侵入盗などの事件の発生はありませんでした。

- 当初からコロナをネタに詐欺事件が発生するのではと予想され広報をしていましたが、やはり多数発生しています。詐欺集団の行動は予想出来る程度の猿知恵なんですね。騙されるなんて本当に悔しいです。皆さんどうか騙されないようご注意ください。

駐在所の独り言 ～PCR検査??簡単でないようです!!～

毎月掲載する独り言ですが、作文するのは、約1か月前になりますから、今更と思われる方も多いかと思えます。タイムラグがある事をご承知願います。さて非常事態宣言解除されコロナの収束で徐々に元の生活に戻りつつあります。振り返れば、国内でコロナが初めて確認されたのが1月15日でした。清川村では、皆さんの徹底的な感染予防とご協力により未だに感染者はなく素晴らしい事です。実は、コロナの陽性、陰性判断するPCR検査ですが、検査数をもっと増やすべきという意見と、闇雲に検査する事は、医療崩壊に繋がり得策ではない。という相反する意見があるのです。今回PCR検査の問題を分かり易いように数値に拘って調べてみました。例えばPCR検査で陽性結果が15人に出たとすれば、実際何人が陽性なのでしょう?まずこの質問自体にびっくりしませんか?今まで陽性結果が出れば、全ての人がコロナに掛かっていると勘違いしている人がいると思います。実際はコロナに感染している確率は、6.5%との事です。突然数字を言われても、えっどういう事??ですね。つまり15人の陽性結果が出ても、その内14人は陰性、つまりコロナに掛かっていないと言う事なんです。逆にコロナ感染して、陽性と判定されるべき人が陰性つまり偽陰性になる確率は30%もあるようです。その理由は、ウイルスの数やウイルスの状態、採取場所、感染からの日数によっても結果が異なる事があるようです。確かに今後PCR検査の精度が上がる可能性はあり、100%正しい結果が出ればいいのですが、難しいと言うのが一般的です。一番医師側が心配している事は、PCR検査を増やせと言われても、それに伴い感染者が陰性と判定される偽陰性が増えれば、誤った安心感から院内を歩き周ったり、他の患者や家族や友人、大切な人にも感染し蔓延する事の恐れ心配があります。またその逆に感染していないのに一度陽性と判定される偽陽性があれば、世間は陽性判定=コロナ感染者と決めつけ、近くの短時間の買い物であっても、暴言を吐かれたり、差別や偏見など人権侵害にも繋がる可能性があると思心配しているんです。つまり誤判定がある事から、重篤者を除き、特に軽症や自覚症状のない人まで、PCR検査を増やすべきではないと言うことのように思っています。こうした状況から決して医師からはPCRを増やせとは簡単に言えない事情があるようです。言い争いを避けるも、患者や社会に対する秘めた奥の深い収束への強い想いがあると実感しました。引き続き感染予防の徹底をお願い致します。